

第30回 SRお客様交流会

2020年2月14日(金) 大田区産業プラザPiO

トップラナーがSRで作り上げた 人と仕組みによる輸送安全対策

佐川急便株式会社 様

- 所在地: 京都市南区上鳥羽角田町68番地(本社)
: 東京都江東区新砂2丁目2番8号(東京本社)
- 創立日: 1957年3月22日
- 代表者: 代表取締役社長 本村 正秀
- 事業内容: 宅配便など各種輸送に関わる事業

SR導入 SRVideo 約6,100台
SRConnect 約2,800台
※ 2020年3月現在



安全推進部 安全教育推進課 係長
村上 進 様



これが我が社のSR導入効果
決められた「安全ルール」の
履行状況に基づく「指導」と「称賛」

安全運転基礎研修にてオリジナルの安全ルールを学べる

18支店、427営業所の輸送安全対策を 年間を通して綿密に管理・推進

本社の安全所管部署(安全推進部)に「安全推進課」「安全教育推進課」「労務管理課」を配置し、全国の安全管理に対する企画・立案・統計管理、労務管理、営業所サポートおよび行政対応などをおこなっています(図1)。
具体的な輸送安全対策として「運輸安全マネジメント」に基づき「輸送の安全に関する基本的な方針」「安全運転の心得」「年間実施計画」の3項目を行動規範や目標・施策などに反映させ掲げています(図2)。運輸安全マネジメントのチェック機能として「安全目標に対する進捗管理表」を作

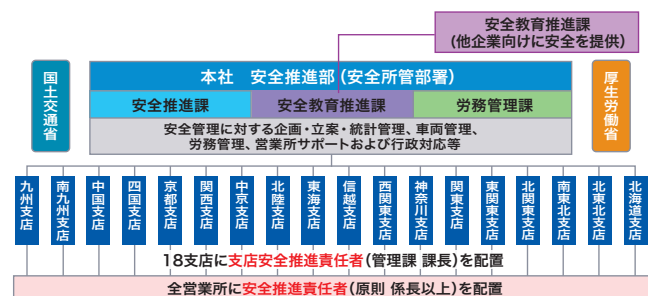


図1 本社安全推進部の傘下には、全国18の支店に支店安全推進責任者を配置し、さらに全国の各営業所に安全推進職(専任)を置き、事故防止をおこなう



- 輸送の安全に関する基本的な方針
- 佐川急便「安全運転の心得」
- 年間計画「輸送安全対策」「安全衛生対策」

図2 支店、営業所にポスターとして掲出。管理者やドライバーが安全方針や運転心得のほか、年間の具体的な安全対策や月ごとのイベントなどを一覧できる

成。事故や違反の発生状況、管理項目に対する履行状況を全国の管理者へ毎日発信します(図3)。

新人セールスドライバー®への運転教育は2泊3日の集合研修にて、過去の教訓をいかした、事故を起こさない、もらわない安全確認方法を乗車から発進、後退、交差点右左折時や見通しの悪い交差点の通過方法など運転シーンごとにセールスドライバー®がとるべき確認手順や指差呼称を詳細にルール化した「安全運転基本要領」を徹底的に教え込みます(図4、5)。

研修後、配属先の各営業所にてライセンスを持った上級SD指導員による添乗指導をおこない、上級安全運転検定員による単独乗務検定で合格し、独り立ち認定研修を経て単独乗務がようやく可能となります(写真、図6)。

運転マナー	重点5項目	毎月、目標指数2.45以下で○	累計で目標指数2.45以下で○
未だ無件	基本項目において毎月5日以上超過している未入念な確認が繰り返す	○	○
種別車(SRVのみ)	平日稼働率85%以上で○	○	○
ふんわりアクセル(SRVのみ)	ふんわりアクセル度2.1%以上で○ ※SRVの稼働率が95%未満は×となります	○	○
Lv. 3, 4乗務	事故日から1年以内の乗務率80%以上で○	○	○
新人	未実施者なしで○	○	○

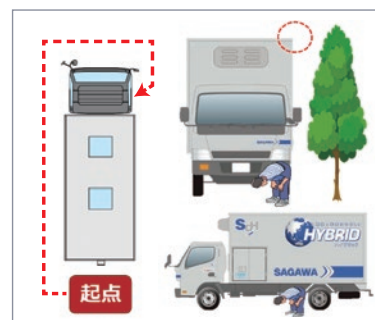
安全性ポイント単月(1月25日現在)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
2. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
3. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
4. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
5. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
6. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
7. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
8. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
9. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
10. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
11. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
12. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
13. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
14. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
15. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
16. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
17. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
18. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
19. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
20. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
21. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
22. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
23. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
24. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
25. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
26. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
27. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
28. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
29. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
30. 安全確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12

図3 各営業所の管理状況を「見える化」するため、安全性ポイント30項目ごとに、達成度合を「○」と「×」で評価して順位付けを実施。図3上は、SRに関する評価項目。稼働率やふんわりアクセル、乗務率で判定基準が定められ、これを指標に管理者が○×で判定。図3下は、各営業所の結果例で、×のセルが赤色で表示され、シンプルでわかりやすい



図4.5 右左折時等、運転姿勢を変えた安全確認で、ビラー・ミラーの死角に歩行者が入っていないか探し出す確認方法や右にある図のとおり、車両に乗り込む際の安全確認を「後ろ回り乗車」と称し、ルール化している



SRとOJT指導の相乗効果が出た！ 発進時と後退時の事故削減に貢献

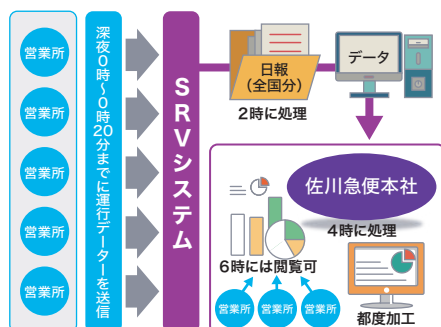
2005年からSRを導入し、現在は全国営業所のSRデータを集計する「SRV集計システム」を構築（図7）。SRデータの16項目について集計されたものが、日タイントラにアップされ、閲覧可能としている。

日々の業務では、セールスドライバー®が日常点検とアルコールチェック後、本日の安全運行指示事項を管理者から確認。車両に乗務し、SRにカードをセット。帰庫後はセー



写真、図6 12日以上かつ30時間以上の添乗指導を実施（上）。添乗指導記録にある14項目の確認事項について98カ所の検証を基に、ドライバーの弱点把握と不安全行動の矯正をおこなう（右）

図7 全営業所から深夜0時までに運行データが送信され、全国分の日報が午前2時までに自動生成。その後、本日で処理が行われ、朝6時には営業所から稼働率や安全・省燃費運転状況を確認できる



データ・テックから

高速道路利用の多い事業者朗報

■ 車両経費削減事業のご紹介

協同組合 企業情報センター（以下KJC）は、全国の中小企業に「事業・経営支援」や「コスト削減」などを提案する異業種事業協同組合。特に車両経費（各種ETCカードや燃料カード、カーリース）のコスト削減に強みを置いている。車両経費削減の一例として、KJCが取り扱う『ETCコーポレートカード』は、一般のETCカードよりも割引率が高く（最大で約50%の割引率）、高速道路を利用する事業者にとってコストメリットが大きい。高速道路料金削減の無料診断が好評。その他、ベトナム人高度人材紹介、外国人技能実習生受入事業も組合員から多くの引合いがある。

お問い合わせ先▶ TEL 03-3264-0005 渉外課 井口

導入19,000社の勤怠管理システム

■ クラウド勤怠管理システム「KING OF TIME」

株式会社ヒューマンテクノロジーズのクラウド勤怠管理システム『KING OF TIME』は、リアルタイム自動集計で大幅な業務効率化を実現し、「クラウド給与」「SmartHR」などAPI/データ連携も可能だ。ICカードやスマホなどから打刻し、従業員の残

ルスドライバー®と管理者が「SR運転診断結果」を基に1日の運転内容の振り返りと安全指導を行います。

SR導入効果としては、全社的に事故削減や安全意識が向上。特にSRはバックギアを入れ、車両が動き出す時間を記録できるので、三多摩営業所では、バック事故が約1/4に削減できました（安全確認してないと思われる4秒以下について指導強化）。

OJT指導とともに、SRが現場の「安全品質の向上」に大いに役立っています。今後も「安全は全てに優先する」を基本として、全社的に安全運転効果を高めていき、より一層の安全品質の向上をめざします。

現場インタビュー 佐川急便 三多摩営業所 様

3年前よりバック事故が1/4に

セールスドライバー® 藤田 様

SRは運転の一つひとつが得点になるので、緊張感を持った運転ができています。バック時は、意識して「左後方」「右後方」「後方」の安全確認を指差呼称確認により確実にこなっています。



セールスドライバー® 営業主任 石牟禮 様

必要な場所以外では、基本的にバックをしないように心掛けています。発進時と後退時は安全確認を入念に行い、車両が動くまで最低5秒以上かけて、安全確認をおこなうようにしています。



西関東支店 管理課 課長 天谷 様 三多摩営業所 安全推進課 課長 松本 様

SRの数値を深く読み込むことで、運転の傾向が如実につかめます。いわば、「追えば追うほど現場は良くなる」。セールスドライバー®の“些細な変化”を見逃さず、放置しないことで、運転技術が着実に上がっていきますね。

耳より情報

業管理、休暇の計算・自動付与、申請承認、常時セキュリティなど豊富な機能を提供。初期費用は0円※1で、月額300円/人※2で利用できる。

お問い合わせ先▶ TEL 03-4577-9600

※1 打刻機器が必要な場合は、別途購入費が必要 ※2 使った分だけの従量課金制

インドネシア版SRによる実証事業とSDGsへの対応をWスタート!!

データ・テックは、環境省の低炭素技術創出・普及事業の採択を受け、インドネシアのトラック事業者と連携してSRを実証中だ。複数年をかけて現地用途や価格に適合させ、インドネシアの法人と連携して事業化をめざす。渋滞が社会問題化するインドネシアで、車両の燃費削減によるCO₂削減や物流効率化を図るのが狙い。さらにSDGsへの対応を本格的に開始。SR関連製品の開発・販売などの各種事業を通じて、SDGsに設定される目標を意識して社会課題の解決をめざしながら、持続可能な社会の実現に向けた活動を積極的に展開する意向だ。

お問い合わせ先▶ TEL 03-5703-7060

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ドライブレコーダー普及を促進 トラック事業者の改革をサポート

一般社団法人 東京都トラック協会 様

- 所在地：〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-8
- 設立：1966年10月設立
- 代表者：会長 浅井 隆
- 事業内容：会員事業者の近代化、交通安全・環境対策、福利厚生対策、都民・利用者へのサービス向上対策などの支援事業



常務理事
遠藤 啓二 様



事業者と荷主、社会の架け橋となり 安全・安心の好循環を生み出す

当協会は、2008年から「事故半減への取り組み～ドライブレコーダー（以下DR）導入促進」を掲げ、物流・運輸業界へのDR普及促進に尽力してきました。

具体的には、「平成19年から今後3年間でDR5万台の普及を図り、事故を半減をめざす」ため、DR普及への助成（補助金）を行うというもの（図1）。東京都の協力を仰ぎ、3年間で約9億円の助成が実現。当時、排気ガス削減に取り組み、地球環境対策をクリアし、その後、CO₂削減の地球温暖化対策を進める「グリーン・エコプロジェクト」を立ち上げた。「エコドライブを行えば、CO₂削減と事故も減る」という方針のもと、当会員様へ同プロジェクト参加を促し、都の助成も得ました（図2）。



図1 東京都トラック協会の星野良三会長（当時）から会員4,000社に向けて発送された「事故警報」は、社会問題化していたトラックによる交通事故への改善策を提言（図上）。同会長が新年会にて当時の石原慎太郎都知事へSRを見せ、「これが都民の命を救う」と力説して東京都から助成金を得られるきっかけとなった

【ドライブレコーダーの分類】



機能別		
簡易型	標準型	高性能型
映像記録型ドライブレコーダーとして、車両前方の映像、速度、加速度、時刻を記録する機能を有するもの。	簡易型の仕様に加えて、乗務員教育用に使用できるような映像解析機能やイベント発生地点を特定することが出来る機能を有するもの。	標準型の使用に加えて、運行管理システムなどの外部との連携が可能であり、高い拡張性を有するもの。

図2 データ・テックなどDRメーカーに「“ドライバーを守る”を第一にした開発をしてほしい」と伝え、当会員様には「ヒヤリハット確認と安全教育指導の徹底で事故が減り、エコにも繋がる」とDR普及を促した

これにより、約33,000台のDRがトラック輸送を行う会社へ導入されました（図3）。

現在、物流業界は、ドライバーの高齢化や人材不足、長時間労働など様々な問題を抱えています。また、輸送の安全とともに環境への配慮やCSRを荷主や社会から要求されています。持続可能な事業企業を評価するため、当協会は、2006年からグリーン・エコプロジェクトを開始（写真）。会員様へ「CO₂削減と燃費向上＝燃費削減」を積極的に呼びかけ、13年間で交通事故削減とエコドライブの効果を上げました（グラフ）。さらにSDGs[※]の優先課題を意識した事業者様の増加もめざまします（図4）。

今後も、国や都、行政、事業者、荷主様との間に入り、社会や荷主に選ばれる「安全・安心・信頼のおける事業者」になるための様々なサポートをさせていただきます。

※ 2015年に国連サミットで採択された、持続可能な開発目標

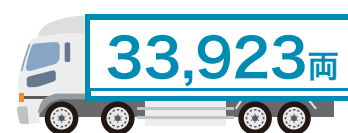
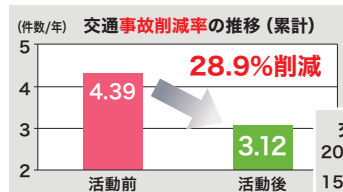
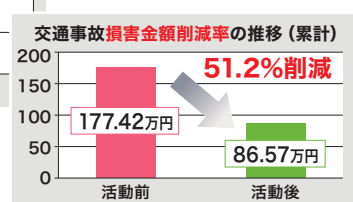


図3 当協会の登録台数78,302両中の33,923両がDRを搭載（平成22年3月末時点）。わずか3年で車両装着に拍車がかかった



グラフ 当協会会員の交通事故と損害金額の削減率の推移。着実に成果をあげている



581社19,069両が参加

写真 令和2年1月現在で581社、19,069両がグリーン・エコプロジェクトに参加。都内を走る緑ナンバーの営業トラック約5両に1両が参加していることになる



図4 運送や物流事業者が関係するSDGsの目標。省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会の優先課題は、トラックを扱う事業者者に密接に関わってくる

SRで広がる異業種の輪

本記事は、2020年2月14日(金)開催の第30回SRお客様交流会で行われた分科会のダイジェストです。



右左折信号はUターンしてもOKなの？ プロでも間違ふ、交通法規あるある

グループワーク 1

運輸・交通安全クイズ

恒例の「運輸・交通安全クイズ」を実施。5問の設問中、特に正解率が低い問題があった。
プロドライバーでも思い違いをしている一般の交通法規は、まだまだ多い。特にQ2は、正解率が低かった。ちなみに車検証は2022年度を目度にICカードになる予定だ。Q4のいわゆる「サンキューハザード」は、本来の使用目的には含まれない。



Q3. 右折矢印信号はUターン可能？

Q1. 初運転者標識は左が黄色、右が緑色である (正解率67%)

Q2. 乗用車の車検証には、最大積載量が記載されていない (正解率33%)

Q3. 右折矢印信号は右折だけでなく、右上図のようなUターンもできる (正解率67%)

Q4. 道交法で義務付けられたハザードランプの使用は以下のとおり (正解率100%)
・故障などで道路に停車するとき
・高速道路の渋滞で最後尾になったとき

Q5. 道路の破損や落下物を発見したら、警察(110番)へ通報する (正解率83%)

正解

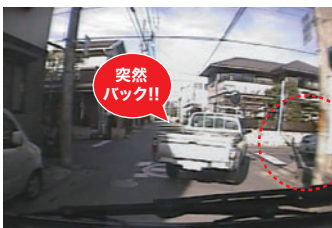
- Q1. ○ 初運転者標識/初心者マークは左が黄色、右が緑色である
Q2. ○ 乗用車(自家用車)の車検証には、最大積載量の欄は空欄となっている。乗車定員×10kgが最大積載量と言われている
Q3. ○ 右折矢印信号は右折だけではなく、右図のようなUターンもできる (Uターンできるようになったのは、2012年4月から)
Q4. × 夜間に駐車するとき (道交法施工令第18条) と、通園・通学バスが停車し、乗降しているとき (同第26条)
Q5. × 道路緊急ダイヤルは「#9910」

“まさか”は、忘れた時に起こる！ 交差点時やバック時は細心の注意を!!

グループワーク 2

KYT (危険予知トレーニング) 事例

狭い住宅地の生活道路を直進進行中、前方車両が見通しの悪い交差点を右折しかけていたので車を一時停止。すると、右側から別の車両が来ていたため合流できず、前方車両が突然バックしてきた!?



(右写真)。

車間距離は2秒以上は空ける。そして、構内外を問わず、後退確認は3秒以上かける。

写真 生活道路直進時のKYT。前方で想定外の動きがあっても、十分な車間距離があれば、被害を回避・最小化できる

グループワーク 4 持続可能な物流へ

SDGs (持続可能な開発目標) をはじめ、CSRや環境配慮を意識した「持続可能な経営」が、物流事業者者に求められている。

物流・配送業界では、人手不足、CO₂排出量抑制、ラストワンマイル対策、生産性向上などの課題を抱えている。これらの解決には、事業者が多額の投資負担を強いられ、法律や省令の整備が不可欠となる。「環境にやさしいトラック運送や、物流事業者には、何が必要か？」を語り合った。

分科会でいただいたご意見、データ・テックからのご提案



効率的な配送 (KPI)

- ・運行データの活用 (SRで車両の動態管理を行うことでルート見直し、配送の効率化を図る)
- ・スワップボディ®を利用し、配送と荷役作業を分離 (お客様が荷台を持ち、シャシーを配送会社が持つ)
- ・共同配送や乗り換え輸送を採用して積載率の向上 (その他、伝票の一本化、帰りの確保など)
- ・運賃の適正化、契約内容の見直し

※ 荷台(コンテナ)のみを自在に脱着できる車両のこと



環境対策

- ・燃費の把握と目標値の作成 (GEP®への参加)
- ・SRなどの車載器導入によるエコドライブと安全教育によるCO₂削減
- ・適切で無駄のない車両整備と保守管理

※ グリーン・エコプロジェクトのこと(本誌P.3をご参照)



ドライバー不足・高齢化と管理者育成

- ・給与面と職場環境を改善し、人手不足を解消
- ・若者が車の免許を取得しない
- ・駐禁対策の助手としても、免許所持は必須
- ・ホワイトな労働環境の実現 (ホワイト物流)
- ・雇用人材の範囲拡大 (経験者+新卒、外国人、LGBT)
- ・教育と評価制度の見直し
- ・荷役と配送の分離 (スワップボディの導入)



グループワーク 3

人材教育に関して

もはや社会問題化しているのが、「ながら運転」。2019年12月から厳罰化され、1年以下の懲役または30万円以下の罰金、違反点数は6点減点となり、一発免許*となった。ながら運転の元凶とされるスマートフォンは、日常生活でも、プロドライバーの現場でも、もはや欠かせない存在になりつつある。分科会参加者からも、様々な意見や提言をいただいた。

※「交通の危険」を生じさせ、死傷事故を起こせば即、免許停止処分の対象になる

分科会でいただいたご意見

ソフト面

- ・ながら運転の定義をドライバーに教え、理解してもらう
- ・道交法の改正と、厳罰化になったことを伝える
- ・社内の運転ルール化を行い、社員へ通知
- ・走行中は、配車係から連絡しない

ハード面

- ・インカメラや居眠り(よそ見)防止装置の導入
- ・安全車載器の搭載や、安全設定の徹底化
- ・定期的に車内映像をチェック
- ・スマホをやめ、ガラケーにする (電話を車内に置かない。置くならドライバーモードを徹底化)
- ・警報装置やインカム無線機を使う

第9回 SRグランプリの参加を募集中! 次のベストドライバーはあなた!!

第31回 SRお客様交流会

2020年 10月15日(木) 東京・大田区産業プラザPiO

その他、イベント、セミナーの詳細は、弊社ホームページにアクセス!!

URL: www.datatec.co.jp

株式会社データ・テック

〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-37-10 グリーンプレイス蒲田11階
TEL.03-5703-7060 FAX.03-5703-7063
<http://www.datatec.co.jp>

2020©株式会社データ・テック
SRNEWS_VOL.74 2004C2-(0)